

第23回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日 時 : 平成25年8月20日(火) 午前10時から正午まで
場 所 : 向日市役所 大会議室(3階)
出席者 :
 (委員) 吉川会長他9名
 (事務局) 田村上下水道部長他13名
傍 聴 : なし

1 あいさつ

2 議事

【平成25年度水道事業会計当初予算】

委員 物集女西浄水場急速ろ過池の支持砂利取替及びろ床洗浄修繕工事の内容は。
事務局 急速ろ過池では、ろ過用の砂と砂利の取替えをしました。ろ床は、浄水池へ流す穴の詰まりを洗浄しました。

委員 平成24年度は収入が減っているが、平成25年度予算に反映されているのか。また、更新や修繕は予算どおりできているのか。

事務局 人口が減るとともに、1人当たりの給水量も減少しており、収入は年々減少傾向にあります。平成25年度の収入予算は昨年より3%減らしています。更新については、現在、物集女西浄水場の耐震、更新計画及び管路の更新計画を策定中です。管路については、160km全てを更新すると約120億円かかることから、優先順位をつけて、更新していきます。

委員 トンネルや橋などのインフラの劣化が問題になっており、更新などやらないと赤字になってもいいし、料金値上げしてもいいのではないのか。会計を明らかにするために、現在、公営企業会計の見直しがされている。

事務局 当初計画している管路の更新は、予算どおり工事を行います。赤字にならないよう、収入の状況を見ながら、維持管理工事や備品等、節減に努力しています。

委員 上植野町北ノ田地区の腐食管路は、JRによる電食と聞いているが、協議しているのか。

事務局 昨年6月に京都府営水道の漏水事故があり、京都府とともに調査したところ、JRから電流が漏れていることがわかりました。また、関西電食防止対策

委員会に京都府が参加し、本市も京都府と共同で対応策を検討しており、J Rへも、電流が漏れない対策をお願いしています。

委員 費用負担はどれくらいか。
事務局 約300万円で、京都府と同時に工事をする予定です。

委員 滞納整理は進んでいるのか。特別損失は何のために計上しているのか。
事務局 平成24年度の不納欠損額は871万7千円で、うち70%はすでに転出された方で、残りが生活が困窮されている方です。収納対策については、再々の催告にも関わらず、連絡もなく未納が続いた場合、やむを得ず給水を停止しており、平成24年度は185件給水停止をしました。給水停止後も、納付が困難な場合は、納付相談を行うなど、滞納整理に努めており、不納欠損額は年々10%ずつ減少しています。不納欠損で更正減した分は会計上、特別損失に計上することになっています。

【平成25年度下水道事業会計当初予算】

委員 職員の平均年齢は、他市町村と比べてどうか。
事務局 一般会計の職員を含めた全体の平均年齢は、府下では低い水準です。ここ1、2年で退職する職員が数名おり、その後が続くのは50歳過ぎの職員なので若返ります。

委員 若い人へきっちり技術継承をしていただきたい。
事務局 特に水質管理について、京都市の技術・ノウハウを学んでいます。また、現在、地震や大雨など災害時の対応について、検討をしています。

委員 マンホール管口テレビカメラ調査は職員でしているのか。また、調査結果からどのような工事をしているのか。
事務局 調査は業者委託で約500万円、止水工事は業者発注で約500万円を予算計上しています。市内にマンホールが約6000か所あり、毎年約500か所を点検し、約3500か所が終了しています。地下水が侵入している箇所は止水工事をします。侵入水が増えると処理先の洛西浄化センターに負荷をかけることになり、処理に係る経費が増えます。

委員 公債費が高額である。借換えなど努力していると思うが、改善されてきているか。
事務局 24年度末起債の現在高は143億円です。利率ですが、6%以上が10億円、5%から6%が7億円、4%から5%が20億円、残り106億円は4%

未満のものです。平成19年度に国の制度で保証金なしの繰上償還があり、利率7%以上であった7億円の起債を1%台のものに借換えをしました。低利なものに借り換える場合、多額の保証金が必要となるため、借り換えることは難しい状況です。

【水道管路施設劣化診断調査結果】

【物集女西浄水場耐震診断結果】

- 委員 管路のシミュレーションとはどういうものか。
- 事務局 管路網をソフト上でモデル化をし、年代、管種、口径、継手、耐震性など調査したデータを入力することにより、更新の優先順位を決定していきます。
- 委員 耐震診断で、どの程度のマグニチュードで総合評価判定をしたか。檜原断層や地質は考慮したか。
- 事務局 レベル2までの地震を想定しています。京都府の地域防災計画によると檜原断層より花折断層の方が揺れが大きいので、花折断層で震度6強を想定しています。
- 委員 南海トラフによる地震がよく報道されているが、仮定している地震は何か。
- 事務局 向日市の上位計画である京都府地域防災計画と過去の地震を考慮して想定しています。
- 事務局 耐震診断の結果、物集女西浄水場などの施設について、来年度以降、耐震のための予算計上をしていきます。また、更新事業の予測モデルに基づく経営見通しを策定します。
- 委員 経営見通しでの起債の金利の設定はどうするのか。
- 事務局 2.5%で考えています。ここ15年は、1%または2%台の低金利で、昨年度の借入利率は、1.5%でした。ただ、デフレ脱却ということで、インフレ施策を国策として進めていますので、物価上昇が金利に及ぼす影響を注意深く見ていきます。
- 委員 20年、30年先を考えた時、国は金利を上げていく方向であり、2.5%の金利でいいのか気になる。市で、太陽光パネルや再生可能エネルギー等の市民ファンドづくりを検討してもよいのでは。国債よりも市の方が信頼されると私は思っています。
- 事務局 平成27年度に京都府営水道の従量料金が、また、平成32年か33年に基本水量の単価が平準化される予定です。どちらもどの水準で平準化されるかわ

かりませんが、予測モデルを作る上で重要になってきます。今後いろいろな面を精査をし、次回には予測モデルを示したい。

委員
事務局

府営水道の基本水量の契約は、変更できるのか。

京都府営水道ビジョンには、基本水量について調整すると記載されています。今後、京都府で料金に関する審議会が開催され、議論されると聞いています。